

誘拐して3分でセックス始めるメンヘラ女子

ベッドの隣

おはよ…。おきた？

なんで、ってなんで？

君が私について来たいっていうから…連れてきたんだよ…。

どうやって？

…ふふふ…どうやったでしょ。

そんなことはいいの…。んっ／＼ううん…

はあ…はあ／＼密着…してるからわかるよね…。

私が履いてないのも…私のあそこが今どんな状態になってるのかも…。

私も／＼わかるよ…可愛い顔のくせに早いんだね たつの。はあ／＼はあ…すけべ…

私といっしょだ…／＼ああ／＼はあ…はあ…

よかった　ちゃんとういうのがわかる年で…ちゃんと勃ってくれて…／＼心置きなく
君のこと…。くすくす…んっ／＼…ふふ…

大丈夫。お姉さんが教えてあげるから、君は何も考えなくていいんだよ…はあはあ。

／＼お姉さんからは精気があまり感じられない　どこかくたびれている

んっ／＼電気スタンドの灯り1つ…

君はドキドキしたまま…お姉さんのお目目を見てればいいの…はあはあ…

怖くない…怖くないよ…。

よしよし…　よしよし…。

／＼少年の身体の上に前かがみに密着するように乗って、アレを探すようにお
姉さんは腰を動かす。未挿入

んぎゅ。ふふふ。しゅき…　しゅき／＼

君も…お姉さんのこと、しゅぎ？

ふー……。

// どこか心ここにあらずなお姉さん

ふふふ…じゃあ、大丈夫だね。

あ…あつた。いくよ… わかるよね…これからすること。

お姉さんと気持ちよくなれるの…。 うれしい？ ふふ

// ゆっくりと挿入していく

ん…んん…ふふ… あっ… 意外とおつき… ん… ふふ… くすくす…はいたよ…。

食べられちゃったね…きみ…ふふん… はあ…はあ…ちっさいからすぐ入っちゃった//

// 正面至近離

んね。 しゅき…

// マイク左耳元

すきっていったの…//

お姉さんね…君のことが… っ//（言葉を失う）

// 公園で遊んでいた子供（君）が自由でまぶしかった。うらやましくて憎らしくて、ぐちゃぐちゃにしたかった。

// でもそんなことを言葉にしたらみじめで口にできない。こんな子供に言えるはずもない。

// 虚無感漂うのでセリフ自体に力がないです。

// マイク正面へ

だい…すき// なの。 はあ・はあ…

大好きだからね… 連れてきちゃった。

〃 全くの嘘ではない。顔は可愛いし、シヨタっ子は全然守備範囲。

〃 でも本音とは真逆の気持ちである。もっとドロドロした気持ちでさらって
きた

〃 何も言えず少年は黙り込む

そんな顔して…。

さっきお姉さんのこと好きって言ったじゃない…もう…ふふ…(しょうがないなあと力
なく笑う)

〃 だんだん右の耳元へ近寄る 声は絞って、ささやき声、無性音。 吐息多め

もっと気持ちよくなれば、楽になれるかな…

〃 密着した状態で腰を振る 少年の耳もとで熱い吐息を聞かせる

〃 恥ずかしいという感覚はある。

〃 お姉さんは初心です。ただ犯罪を犯してるので今更という感じです。

んっ…んっ…はぁ… はぁ…はぁ…うっ／＼ んっ… はぁ… はぁ… はぁ…

エッチ… 初めてだよね？

どこ見ていいかわかんないって感じ…私もそうだった…。ん… はぁ／＼

あんどきは…。あれ…最近なのにもう、あんま覚えてないや……

ん…あっ／＼ はぁ はぁ

…ごめんね。つまらないこと…言った。

身体、起こすね。

／＼ 身体を起こして腰を降る

／＼ 正面へ 30cmぐらい 有声音」割ぐらい

んっ… うん… あっ … い…／＼ んっ… んっ… はぁ…はぁ… はぁ…

い… い…あっ んっ んぁ きも…ち… はぁ… んっ おく…んっ はぁ はぁ

思ったより、ずっと… んっ あっ はっ

え…綺麗？ わたし？

〱 冷めた感じで

ありがと…。

〱 少年は素で自分のことを褒めてくれている。言葉は響かない。

〱 自分は本音で誰かのことを褒めたことがあっただろうか

〱 少年と相容れないものを感じ取りますます彼をなぶりたくなる。

…君いい子だね。はあ…はあ…

君も動ける？ お姉さんのこと…ちくできる…かな〱？

うん…して〱 身体倒す…〱

※ 正面至近距離 ささやき気味に

…はい。いいよ…。好きに動いてみて…

〱 拙く腰をふる少年。 うまく身体が使えないので、気持ちいいとはいえない

…そ…お姉さんの奥にぼん、ぼんってするの…

〱 頑張ろうと一生懸命になっている様子が可愛い。応援してあげる。

〱 内実は、後でなぶるための口実づくりなので邪悪です。

ゆっくりでいいよ…。ほら… 頑張って…ん…んっ〱今のよかったよ…。

頑張れ… 頑張って… つふふ。

〱 いまいち気持ちよくない。

んっ ん… そ… ん… うん いいね…ふふふ… うーん〱

ん… あっ はあ… はあ… ふふふ…

〱 やっぱり自分で動く

※だんだん左耳元へ ささやき気味

次はお姉さんが教えてあげる

こうするんだよ…。

んしょ…。

// 密着したまま腰を降るお姉さん 少年をなぶる

// なぶるように自由に腰を動かしてるうつにだんだん情欲が強くなってく

// 瞳に精気がみなぎっていく

んっ はぁ… はぁ はぁ… はぁ… んっ んっ くっ あっ ふふ…。

ああ…これ、ほんとダメだ… はぁ… はぁ 私… んっ んっ あっ んっ んっ

かわいい// 子供// んあっ…おかして// んっ んっ きもちっ//

(喘ぎ+エッチな吐息 だんだん激しくして、←で疲れて抱きしめる)

// 温もりが欲しくて抱きしめる

// なぶるつもりが気持ちよさに震えてだんだんどうでもよくなる

はあ… はあ… はあ… しゅき／しゅき…。

んっ あっ ん… はあ… ああ… きもちっ

（喘ぎアドリブ たまに 好き！ 好き！つと語りかける）

／ 僕も…好き…と少年が応える

はあ…はあ…はあ… 君も、好きなんだ…私のこと…。

ふふ…お互い好き同士だね…よかったねえ…。

／ 単純に好きの言葉はお姉さんの心に響く。正直嬉しかった。あまり言われたことがない

君…いくつ？

／ 少年が答える もっと小さいと思っていた。

そっか…思ったよりはだけど…それでもまだ…。

っ…。

・……………

＝ 少し冷静になって怖くなってくる。自分が震えていることに気付く。

＝ 性欲に任せてそのことをごまかすことにした。

＝ 甘えるように少年に聞く。

＝ お姉さんの思考が冷静になって感情的になっているのがわかるようにお願いします。

＝ 怯えを隠すように

ね…キス…していい？

ん…。する＝。

※正面至近距離へ

あむ、ちゅ…ちゅ… べろ、出して…そ…

ん…ちゅるちゅる…あむあむ…ちゅるちゅる…。

(キス)

はあ… はあ… はあ…。

〃キスして温かさと、攫ったくせに少年に甘えてる自分の腐りきった心に気づいて自嘲の笑みが溢れる

ふふふ…ああ…死…ぬ〃 (死にたいと言おうとしたがやめた)

ちゅるちゅる…ちゅるちゅる…。気持ち…いい…〃

〃腰を振り始めるおねえさん

ちゅ…んっ んっ んっ あっ んっ れおれろれろ〃

ちゅるちゅる んっ んっ あっ ん いっ ちゅるちゅる うう…〃

れろれろれろろ… はあ、はあ、はあ

〃だんだん右耳元へ 腰を動かすのをおさめていく

…はあ…はあ…はあ…。

しゅき…／＼（全部自分を守るために言っている言葉です。）

離したくないよ…。

／＼　そこまで圧が強くないほうがいいです。

ずっと…ここにいて…。

／＼　反応にこまる少年。

…。

※だんだんマイクから離れる　右側

…私は君に縄とか手錠をかけることもできたんだよ。

君は帰りたいの？

※ だんだん中央へ

え…妹の世話…君が？ お母さんは？

…夜のお店。…そうなんだ。

おと…いや…。

／＼ 少年の境遇を推察するに父親はいない。

なら…帰らないと…まずいね。

／＼ おそらくこの子は、想像していた恵まれた環境とは程遠い暮らしをしている。
る。

妹ちゃん、今頃泣いてるかもしれないもん…ね…。

〓
右耳元へ

名前…教えて…〓

真也…君？

そ…。

〓
浮かない顔の少年。うなずくが、乗り気ではない。

最後に…何かしたいことない？

キス…したい？ いいよ…。

※正面至近距離

んちゅ…れろれろれろ…つつん〓

少年の方から強く迫ってくるキス。戸惑いながらも、気持ちよさにとろけていく

れおれろれろれおれろれろ…はあ／＼れろれろれろれろ…。

ん…ちゆるちゆる…はあ…はあ…んちゅ…れろれろれろれろ／＼

少年の方から腰を振り始める

んっ　んっ　あっ　腰っ　んっ／＼　君っ　んっ…れろれろれろれろ…

少年が唇を求めて腰をふってくる

抱きしめて脚を彼の腰に絡めるお姉さん。彼を放したくないと思った。

はあっ　はあっ　んっ　んっ　んっ　あっ　あっ　んっ　いっ　んんっ／＼

予想外に気持ちいい。少年の勢いに動揺しつつも、彼の境遇について思いを

馳せ 強く抱きしめていた

※だんだん左耳元へ

はあ、はあ… んっ んっ

…してあげるから、もっと…お姉さん…の脚、君の腰…絡めて…んっ んっ ああ／＼
い、 いい／＼ 気持ちいい。 んぐっ はあ はあ んっ！ ううん／＼

はあ…はあ…はあ…

（耳元で感じる吐息＋喘ぎ

しゅき… しゅき… しゅき／＼ ああ… ん んっ

はあ、はあ、 んっ 上手！ 上手だね… ふふ…あっ んっ んっ もっといける？
え…なにっ？

んっ んん！！（射精）

あれ…／＼ はあ…はあ はあ

／＼ 熱いものが身体の中に流れ込んでくる

※ だんだん有声音強めになっていく

しんや…くん／＼ はあ、はあ…。

ふふ…出しちゃったんだ…。 あゝあ…

／＼ 力なく笑う。別に中でされようがどうでもいいと思っている。

お姉さん…きずものにされちゃったな…。

／＼ 真也君は意味がわかってない。射精もしたことがなかったし、オナニーもしたことがない。

あ、そっか。わからないんだ。

今ね、お射精っていつて、君はお姉さんに赤ちゃんのものを植え付けたんだよ…。

でね、これから赤ちゃんができるの。真也君と、お姉さんの。

／＼ うそ！ごめんなさいっ！と謝る

※ 正面へ やや遠目

くすくす、
嘘。

いや…半分は嘘なんだけど…。でも半分はホント。

いいよ。何もつけないでしたお姉さんの責任だし自業自得だから。

〳〳 何故か嬉しい。高揚感があるお姉さん。

※右耳元へ ささやき

真也君が気持ちよくなれてよかった…〳〳

…ちゅ…。

…帰る？

〳〳 うん と頷く少年

いいよ。

帰ってあげな…。

すう… すう…すう…すう…。

//でもお互い抱っこしたまま離さない。

どしたの…。妹ちゃん…泣いてるんでしょ。

… 帰りたくないの？

//黙ってしまう少年

…。

…ああ…そつか…。

私に拐ってほしかったのか…君…//

よくわかったね…私がヤバイ奴だって…

わかって寄ってきたんだ…。

// やんわり吐息

はあ…はあ…はあ…はあ…

子供って…ほんとすごいね //

// 耳なめ

んちゅ…れろれろれろ…れろれろれろ…

…乗せられたのは…私の方だったのか…ふふ…ふふ…（力なく笑う）

れろれろれろ…んちゅ…

（耳なめ）

// モノローグ台詞です

彼の家には13歳の妹と酒浸りの父親がいるらしい。

父親の方はてっきり死んだものと思っていたが…

帰ると酒を飲んで怒鳴り散らし、妹の世話と家事に追われる毎日だとか…。

…彼は開放されたがっていた。

いや…きつともつと強い気持ちを抱えてる…

私と同じなのかもしれない。

2. セックスの後で

彼の境遇を知ったお姉さん。

同情した。親への復讐がしたいという気持ちも同じものだった。

ただ、目の前の子供が明らかに自分より辛い境遇に立たされており、気後れし

てしまう。

何より恵まれた自由な子供を拐って人生を滅茶苦茶にしてやりたい、そして悪事を働き両親を困らせたいという目的があったのに、

拐った子供の思いのままになっているという状況が気に入らず、腹立たしい。

そのことから真也君に対して棘のある態度を見せてしまう。

// ベッドの横で落ち着いてる二人

// お姉さんの方は少年の家庭事情を突きつけられて少し萎えていた。

// 何の苦勞も知らない子供を拐ってきたつもりだったのに。

// 右耳もとでささやき

∴。

泣いて少しは落ち着いた？

そ…。
もう帰ったら？

／＼ 右前15cm 有声音

…帰り道がわからない？

スマホあるでしょ。電車もある時間だし。

ナビアプリとか入ってるんじゃないの？

ない…？その年でもってないなんてうs…

／＼ うち貧乏だから

…あつ。

／＼ 少し考えればわかることだった。今まで携帯料金なんて払ったことがないから気がまわらなかった。

…。

家まで送ってあげようか？

// 無言を貫く真也君

なんで返事しないの…。

はあ…。

いつく気なんだ…。うちに…。

// 「うち？　じゃあ、ここはお姉さんの」

// だんだん 正面30cm

うん…ここは私の部屋。

嘘じゃない。

親が旅行に出てるスキに君を連れてきたの。

// お姉さんの態度が段々悪くなる。機嫌を損ねている。

でも…なんか萎えちゃった…。

…薬を買ったりいろいろ準備とかしてたのに…。

// 背を向けて寝ようとする

// また虚無感がただよってくる

// 左前50cm

うちにいるなら好きにしていよいよ…。

1週間は帰ってこないし… ご飯も台所にあるものならなんでも…
すう…すう…すう…
う…。

// 「帰れって言われるかと思った。いいいの？」

いい…。いい…。いい…。

// 「ありがとう…うう」

// まったく、いい迷惑だった。興味をなくしてしまった。

もう…泣くなよ…。鬱陶しいなあ…。

// 抱きしめて頭をポン、ポンとする。

// やんわりと優しい吐息

※だんだん左耳元へ

はあ…はあ…。はあ…はあ…。はあ…はあ…。

// 裸で抱き合っている。胸の中に少年がいる。子供をあやしているような状態で、何をやってるんだろうと思っていた。

// ふとももにアレが当たり、また固くなっていた。性欲が少しずつ高まってくるお姉さん

／＼ 少年の性器をゆっくりと撫で始めた。

…おちんちん触ってあげるから元気だしな…

ん…ふう…はあ…はあ…はあ…ん…

ほら…泣いてないで…。君も…お姉さんになんかしなよ…／＼

せつかくめったにできないことしてるんだから…身体…すぎなところ触ってごらん／＼

／＼ 少年に背中を撫でられる。

んっ…背中／＼？…まあいいけど…。

（尻とか胸を期待してた）

／＼ 少年はお姉さんの背中を優しく撫でてくる。これが思いの他心地よかった。

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ… 撫でるの…うまいね。

結構好き… かも…。

// 「妹が寝ないときやってあげるんです」

そ…今、小さい妹ちゃんと同じ扱いされてるんだ。私…。

別に… あやまんなくていいよ。

…おいで…。抱っこしてあげる。

// 少年の鼻、唇、息が、乳首に触れてたまに嬌声が出ます。

顔、息できてる？

いいよ。息しなきゃ死ぬでしょ…。

はあ、はあ…はあ… はあ… はあ…。んっ…。

舌、出してみて。

…いいから//

吸っていいよ…。ちくび…舐めてごらん…。そ…。

＝ 少年の舌が乳房を舐めてくる

＝ 平静を装いながら、子供にいけないことをさせている状況が愉快に思えて

きた

はあ… はあ… はあ… はあ… はあ…すう… すう… すう…。んっ＝

…ちよつとだけ愉しくなってきた…。くすっ…。

はあ… はあ… はあ… はあ… はあ…すう… すう… すう…。んっ＝

真也君…だっけ。

お姉さんとの約束…。

＝ 低く脅迫めいた感じで

お互いこのことは決して誰にも喋らない…。

それを守るならいいよ…。

＝ 自分がそのような約束を取り付けることができる立場にないことは承知している。既に犯罪を犯している。

＝ 後で警察に駆け込めば弱いのはお姉さんの方。なのでこの取引が成立していない。

＝ 冷静に考えれば少年にも理解できるはずだった。

＝ お姉さんは形だけの主導権を握るために言いました。

＝ それでも少年は必死にしがみついて、ありがとう、ありがとうと感謝の言葉を繰り返した。

…。そんなに帰りたくないんだ…。

はあ… はあ… はあ… はあ… はあ…すう… すう… すう…。んっ／

＝ 少年の心がわかるような気がした。

＝ 私は誰も助けてくれなかった。

ふーーー。

ふーーーーー。

忘れればいいよ…。

君も、忘れさせて…。 ほら、乳首… 舐めて…

ん／＼はあ… はあ…はあ… ん… あ…好きだ…それ…／＼

はあ… はあ… はあ… 好き… しゅき…／＼

※ 左前 5 c m

もつと… 背中も… はあ…撫でて…。

ん… 好き… あ…はあ… はあ… はあ…

※ 正面 至近距離

エッチ好き？

気持ちかった？

はあ… はあ… んっ はあはあ…すう… すう…

〃 わかりません。気がついたらお姉さんに…。

ふーん。 私は結構よかったけどね…。

うまかったよ…最後だけは…。

うん…。上手だった。

〃 僕も…。

そ。

〃 もう一回しますか？

もっかい？

いや。…無理に合わせなくていいよ…。そういうの苦手…。

// 言葉尻がきつくなったと思ったお姉さん

あ…いや…。

…一回すると男の子って疲れちゃうから無理はよくないってこと。

// 付き合っていた彼氏はそうだった。やることをしたらすぐ寝てしまう。

そのかわり… お姉さんのおっぱい舐めて…

うん。 それ普通に嬉しいから…//

// 10 歳の子供にしてはませているが、見た目は好みで可愛い。そんな子に舐めさせていると思うと悪くない…

※だんだん右耳元へ ささやき

ん…// はあ…い//…。きもちいい…。 ん…。ううん//

ふふ… いい子だ…。もつと舐めな… そ…んっ んっ…はあ… はあ…はあ…

〓 だんだん落ち着いてゆっくりめに息をしてください。嬌声ではなく、温かい
感じで

ふう… ふう… ふう… ふう…。ふふ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…

〓 これ、気持ちよくできてるんですか？

〓 投げやりだけど、優しく

だから、そんなに心配なくていいって…。(頭を撫でる)

仮に気持ちよくなかったとしても、君のことを追い出したりしないよ…。

〓 優しいんですね…。 お姉さん…いい人…。

何言ってるの…。

いい人が誘拐なんてするはずないでしょ…。

ふう… ふう… ふう…。

はぁ…はぁ…はぁ…

//
そうですね…。

口…止まってる…。 もうしゃべらないでいいから…。

私のこと気持ちよくして…//

//
再び少年はお姉さんの乳首にキスをする。舌で舐める

ううん…//

ふう… ふう… ふう… ん… はぁ… はぁ…//

ふう… ふう…。

（喘ぎ 吐息 安眠仕様）

＝ 安心する。なんでこんなにほっとするのかわからない…。

＝ 犯罪に手を染めて、どうしようもない状況なのに…。

＝ 少年の頭をなで始める。少年は身じろぎした。

ん？ 頭…撫でられるのはきらい？

そ…。怖いんだ…。いいよ…。わかった…。もうしない…。

＝ 眠そうに。

ふう… ふう… 寝そう…。

明日…学校は…？

ああ…休み…だっけ…。ううん…。

…明日のことは…明日考えればいつか…。

＝ 乳首にキスし続ける少年が可愛くて、抱きしめる

はあ…君は…。 ん…。 いや…。 なんでもない…。

// キス上手だね、と言おうとしてやめる。

// 耳にキスをする

ちゅ… ちゅ… ふー……。

おや…すみ…。 ううん… すう… すう… すう… すう… すう… すう… すう…。

（寝息）

3. 朝… 起きると少年がいない 台所へ行くとご飯を作っている

寝起きは情緒不安定で、ぎゅつとしたくなる。寂しがり屋

このパートから いちゃあまです。

// 寝起きは情緒不安定で、ぎゅっとしたくなる。寂しがり屋。感情はだ

ってOKです。

※ 正面20cm

… あれ…。私…。そだ。

// ベッドのあたりを確認する

いない…。帰った??

// じゅるるという料理の音が聞こえる

そっか…。あの子が朝ごはん…。

// 上に上がってくる真也君。お姉さんはベッドでねたまま。

// 「あの、ご飯できましたけど」

すう… すう… すう… すう…

// 「あの…お姉さん？」

// ベッドの近くに寄ってきた真也君をベッド、布団に引きずりこむ。

// 朝のせいで人恋しくなっています。甘えん坊になっています。

※ 右耳元へ ささやき

ふふ… びっくりした…？

おはよ…。作ってくれたんだ…ご飯…。

// 「はふ…//」

毎日君が作ってるの？ 家族の分…。

// 「お母さんが遅くなるときは」

そ…。じゃあ…いただこうかな…。

// キス

※ 正面至近距離

はむ…ちゅ…ちゅ…ちゅ…れおれろれおれろれ…

// 「お姉さん」

よかった。まだ居て…。帰ったかと思った／＼（少し甘える感じで、お姉さんの弱さが感じられるほど）

ちゅ…ちゅるちゅる…ちゅるちゅる…。

舌…らして…。

ん… ちゅるちゅる…ちゅるちゅる…はぁ…はぁ…れおれろれおれろれ…。

ご飯？ うん…食べりゅ…君…食べてから／＼あむあむあむあむ…ん／＼ちゅるちゅる…
ちゅるちゅる…

いいのに…いい子にならなくて…ちゅるちゅるれろれろれろ…。

やあら…。 食べる…君…／＼君を食べたいの…／＼ちゅるちゅる…れろれろれろれ…

／＼ 「味噌汁冷めちゃいますから…ご飯食べてから…」

／＼ 少年のことを困らせたい。甘えている

やら…しゅき／＼ はぁ…はぁ…れろれろれろれろ…／＼

君は… 君も私のこと…好き？ どう思う？

／＼ 「お姉さんは綺麗で…あの…」

んちゅ…ちゅるちゅる…綺麗…うん…。うれし…／＼

私も… 可愛い… 君は可愛い…。 だから拐ったの…可愛いよ…好き…好きだから…

／＼

※ だんだん右耳元へ

はあ… はあ… 少し混乱してるかもしれないけど…私こんなだから…。

…。寝起きは…こんなで、おかしくなる…。誰でもいいから…したくなる エツチ／＼
今はお姉さんだと思わないで…いいから…。

／＼ 右耳なめ

そばにいて…／＼ ん…ちゅるちゅる…ちゅるちゅる…。撫でて…／＼ 背中…。好き…だから…あれ…もつとして／＼

／＼ 真也君に背中を撫でてもらう

はあ…はあ…すう…すう… すう…ふふふ…落ち着く…。

ううん… はあ… はあ…はあ…上手だねえ…。女の子…みたい…。君…。

いや、お母さんみたいって言いたかったんだ…昨日から…思ってた。

…うちの母親とは全然違うけど…ふつうこんな感じなのかなって…。落ち着く…ほんと…。

／＼ 離さない、行かないで欲しいという気持ちを込めて、好きと連呼してください

い

はあ… はあ… はあ… はあ… しゅき… しゅき…しゅき… ん…しゅき…。

いっちゃだめ…。 ご飯は冷めても温めればいい…。

君の心も、私の心も…お布団の中でしか温められない…。

ふー…。

呆けてるね…。

いいよ…何も考えなくって… それでいいの…

一日中、こうしてよ…。 ね…。 頑張らなくていい… 頑張らなくていいの。

君が壊れる前に…私がなんとかしてあげるから…。

ちゅるちゅる…ちゅるちゅる…れろれろれろ…。はあ…はあ //

らっこして… // ねえ…。

※ 正面 20 c m ぐらい やや下だと嬉しいです 胸のあたりににいます

はあ… はあ… はあ…

君の胸の中…。ぬくい //

シャツ邪魔だな…そだ…

// シャツの中に入る

// 正面近め

んふふ… シャツん中ぬくい // 冬場だから…温かいよ…これ

はあ、はあ…はあ…すう…すう…すう…汗かいてるね…後でお風呂で洗ってあげる //

ね…私も洗っていいから…それならいいでしょ…あらいつこ…楽しみでしょ //

// 少年の乳首にいけないことをする

// J シャツの中で舐め回す

※胸舐めできる位置で自由に動いてください

ちゅるちゅる…ちゅるちゅる ん…ペロペロペロペロ

君のちびおっぱい…かわいっ// ちゅるちゅる…ペロペロ…れろれろれろ…。

ふふ…いっちょ前に固くして…

あむあむ…はむはむ…

忘れさせてあげる//

んっ// れろれろれろ…ちゅるちゅる ふふ…声が漏れてるよ…//

// J シャツの中から出て耳元で呪いの言葉をかける 甘く優しく言ってください

い。

// 右耳元へ

私に任せておけばいい… 君は先のことなんて心配しなくていい…

ここにいればいい

耳舐め

れろれろれろ…れろれろれろ… あむあむあむあむ…

ご飯冷めちゃうね…でもいいの… いいから…。何も考えなくて

（耳舐め）

4. お風呂の中で

落ちて着いて少し正常にもどったお姉さん。少年のことをからかって遊んでいます。

性欲は抑えられていますので、エッチしたいわけではないです。

無機質な声で 上のトラックとは変貌して冷たい感じます。

／＼ 後ろ5cm 有声音

何が不可解なの？…私が急に態度が急変したこと…？

言っただでしょ…。朝は、誰でもいいからぎゅってしたくなるって…。

気分屋なの…あまり気にしてもしょうがないよ…。

／＼ 湯船の中で少年ことを抱きしめながら言う

今は別に。正直そんな気分でもないかな…

／＼ この体勢で言われても説得力がないです・

お風呂吕って狭いから、こうやって入るのが一番いいんだよ…／

湯船で人の上に乗るのが気持ちわるいの？

私の胸が背中にあたる…？　そんなの今更じゃん…。

＝ 右耳元

まだ照れてんだ…。

…それも予想通り、君が恥ずかしがるの見たかった…。

＝ 僕が何か悪いことしたんですか…？

※ 後ろ5cm

わかってないんだ…総て君が悪いのが…。

＝ だんだん左耳元へ

私のこと騙してたでしょ…。

善良で苦労知らずの子を連れてきたつもりだったんだよ。

そんな子をダメダメにしてやろうって思ったのに、キミときたら。はあ…全然だめ。

// もう上がってもいいですか？

// 後ろ5 c m

もうあがる？

だめ。しっかり浸かって身体を温めないと…

// 左耳元

ふー……。

ところで、なんで、さっきから手で抑えてるの…

そこ。ちょっと見せてよ…まだちゃんと見たことないんだ、わたし…

// 「嘘だ！さっき洗ってたじゃないですか！」

// 左前 10 c m

後ろから洗ってただけだからよくは見えない…

ほら、手えどけて…。

…。別に、見たからってどうも思わないけど。というか…普通…。

なんで隠すの？ 勃ってるから？ 気にしないでいいのに。

// 「僕は気にするんです！ いいからもう上がりましようよ。」

いいから…ほら、手どけてよ。

// 左耳元

ふふ…捕まえた。

// 何も言わずちんちんを握るお姉さん

// 「…なんで握ってるんですか／＼」

ん…

握られたって減るものじゃないでしょ…。

いいから…。 ふう… んふ… ん・ ふう… はあ… ふ…。

（アドリブでしごく吐息）

// 無言でしごいてる 手付きは大変エロい

// 相変わらず無機質な声で

なんで震えてるの…？ びくびく びくびく…

やらしい子…。 ふう…ふう…ふう…。

※ 段々後ろへ

一体何にそんな興奮してるんだか…。

私の手…？ 背中にあたる胸？ 耳にかかる息？

はあ… はあ… はあ… はあ…。

〃 子供を犯して愉しくなってきたお姉さん。少年の反応に嗜虐心がくすぐられた。

〃 虐めてやりたい。

※ だんだん右耳元

震えすぎ…。

ピクピク… ピクピク… ピクピク… ピクピク…

声が反響して…自分の声、聞こえてるでしょ…。

ほら…自分の息遣いまで…。荒いね…きもいね… ふー…。

大丈夫…？のぼせない程度に…ね。

ん…。 はあ… はあ… はあ… はあ…

私も…気をつけなきゃ…。

〃 耳キス

ちゅ… ちゅ… ちゅ… ん…

乳首…。 上も寂しいといけないね…。

// 左手でちんちん、右手で少年の左乳首をいじる

くり… くり… くり… くり… くり… //

しこしこ…しこしこ…しこしこ… 同時に触られんのきもちくない？くすくす…。

// 興奮気味の息遣いの

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ //

あ…くりくりされるよりも、つまむほうが好き？

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ //

んちゅ…ちゅ…あむあむあむあむ…。

ああ… 爪先でよわーくきゅ…ってつままれるのがいいのか…。

こう… ん… んぎゅ… くいくい くいくいつ はあ… はあ…

だ・め…。 おちんちんも乳首…どちらか一つなんて…。

両方とも触る… いじめる…。

君の声… 好きだよ…。 うん… 好き…。

はあ…はあ…はあ…はあ…

ドキドキ…伝わってきて…。 もっと…もっととって…。

いじめてあげたくなっちゃう…

ほら… お姉さんの乳首のさきっぽ… すー…。 すー…。

ふふふ…。 なに… ん？ お背中も幸せ？ 私もくすくす…。

// 乳首をこすりつけるはあはあしてます。

ん…// はあ…はあ…うん// 忘れていい…。

辛いこと… 私の前では考えなくっていい//

はあ…はあ…はあ…はあ…んっ//

// 彼の理性と現実観を壊してやることに快感を覚え始めた お姉さん

しゅこ・しゅこ… しゅこ・しゅこ… しゅこ・しゅこ…。

湯船の温度…ちょうど私達の体温と同じぐらいになってきたんじゃない？

ぬるいけど…そのくせ、君はすごい汗だね…//

// マイク 後ろから首のあたりへ…背中を舐める。

んちゅ…ちゅ…ちゅ… 君の味// んん…ちゅ…ちゅ…れろれろれろれろ…。

背筋からいくらでも出てくるね… 全部絞ってあげる…//

れろれろれろれろ…んちゅ…んちゅ…

…考えないでいい…。 忘れればいい…。

れろれろれろれろ…んちゅ…んちゅ…

明日のことも、人間関係も…。

今…ここには私と君しかないよ…。

れおれろれろれおれろれろ…。

//
だんだん左耳もとへ ささやき

忘れよ？ はあ…はあ… ね…。

しーこ… しーこ… しーこ…

ほら出してごらん…気持ちよくなつてごらん…

くすっ…ぶるぶる震えすぎ…

//
後ろへ ささやき

私の固くなった乳首。

君の敏感なお背中に触れてるのがそんなにやらしい？

// 乳首を押し付けて興奮してます。

はあ…はあ… はあ…はあ… んちゅ…れろれろれろ…

// だんだん右耳もとへ ささやき

感じてる…わかる？ 乳首が起ってるってことはお姉さん…。キミに押し当ててるだけ

で…

気持ちなくなってるんだ// くすくす…。

乳首… お姉さんの乳首… キミの背中につーんって擦れてる乳首//

乳首…おっぱい…おっぱい…いま…こしこしって…きみにこすりつけて気持ちいいん

だよ//

嬉しくない？

いるだけでキミは認められてるんだよ…　ここはキミの居場所だよ…。

／＼　乳首を背中にこすりつけてる

はぁ…　はぁ…　はぁ…　ぁぁ…　おっぱい…すりすり…すりすり／＼

ん…はぁ…　はぁ…

キミも気持ちいい？　くすくす…やめてって？　こんなに気持ちよさそうじゃない？
なんで？

／＼　だんだん後ろへ

…ぁぁ…でちゃうんだ。

流石に湯船にあれが浮かぶのはね…

でも、お姉さんみたいなの…それ…

／＼　再び背中に乳首をこすりつけてきもちくなる

／＼　左耳元へ　ささやき

ん… うん… みせて〱 お洩らし…お風呂でしてみせて…

ぎゅ… ぎゅ… ふふ…出すまではなさない。

〱 ゆっくりとなぶるように

しーこ… しーこ… しーこ… しーこ…

時間はたつぷりある… いつかはでちゃうよ…

でも我慢したいならそれはそれでいい…

しーこ しーこ しーこ しーこ…

背中におっぱい感じながら…気持ちよくなれていいね…のぼせそうだね…熱っぽい吐

息…かわい〱 はあ…はあ〱

うれしいね…真也君〱

乳首…お背中にすりすりされて…きもちいいね…。

はあ…はあ…しーこ しーこ しーこ しーこ んっはあ〱

// 乳首こすりつけて感じてます

ん… んあ はあ…んっ// 射精…まだかな…。

お射精… お射精… お・射・精// いーよ// いつでも…

しーこ しーこ しーこ しーこ

// だんだん後ろへ

お姉さんに射精するところ見せてごらん//

おちんちんから我慢できず、ぴゅっぴゅするところ… 見せてみ//

キミみたいな子が爛れたエッチでダメになっていくの…ぞくぞくするよ…はあ…

はあ…んっ!!

しこしこ…しこしこ しこしこ しこしこっ

んっ あっ… しこしこ… しこしこ！…んんっ //

ほら、いいよ… 行って 行って…。

我慢しないで… 出して… 出して… ほら…

しこしこ！しこしこ！しこしこ！しこしこ！

だして、だしてだしてだして！湯船ん中をキミの精子で汚して、お姉さんを震えさせて

ごらんっ…

いって いって！いって。いけ！いけっ！

ん… んんん //

// 射精して白いものが湯船に放たれ、ゆっくり漂っている

// だんだん右耳元へ

くす…ふふふ… あゝあ 恥ずかしい、恥ずかしい……真っ白のお精子…。

なかなか浮いてこないね。んふふ…。

はあ…はあ…はあ…はあ…。

// すくいあげる

あれ…キミの精子…。 お湯の熱で固まってるよ…。

タンパク質だもんね。あゝ汚いなあ…こんなお湯にいつまでも浸かってられないよ。妊娠しちゃうかも…

くすくす…。

でも… きもちかったね… //

よくできたね…。何も考えず吐き出せてえらい…えらい…

これはキミに必要なことだよ //

なーんも考えず、流されるときは流される…そういうことも必要なんだよ…。

心が壊れる前に私が助けてあげる…

ほら、我慢せず全部はきだそ…

お姉さんが手伝ってあげる…

しこ…しこ… しこ… しこ… しこ… //

ん…ふう… ふう…ふう… ふ…

しーこ しーこ。しーこ。しーこ。

ほら、さきっぱまできてるもの全部出そ…！

しこしこ…しこしこ…しこしこ…しこしこ…しこしこ！っ

最後まで… 全部… びゅ… びゅ… びゅ… びゅ…

ふ… はぁ はぁ…しこ・しこ・しこ・しこ…んふふ…

そ…いい子だよ／＼ ぜーんぶはきだそうね…

しこ… しこ… しこ… しこ… いいこ… いいこ…。

出た出た！ くすっ…

湯船に浮かんだこれがキミの精液…。

昨夜お姉さんの中に出した、赤ちゃんのもと…。

気持ちかった？ お姉さんの中に出すのは？

気持ちくなかったの？ うふふ…

かわいいね。しよつか… また…。

いーよ。君がしたいならお姉さんはいくらでも付き合ってあげる。

// 少年の顔は恍惚としていた。

// ほほを胸に寄せてきている。彼の頭を抱き寄せて撫でていた。

// この少年を壊してやりたい。その想いが膨らんで強くなるのを感じた。

// 正面

よしよし… よし…よし//

// 首すじ愛おしそうに舐め回す

// 右前 首元のあたりへ

ちゅ…ちゅ…ちゅ ・れろれろれろ…れろれろれろ…んれろれろれろれろ//

5. お姉さんを気持ちよくしたい

ゆっくり耳元で喘ぎ声を少年に聞かせて、情欲をかきたたせるパート

〳〵身体をバスタオルで拭いて自分の部屋に戻る

※ 右前 10 c m

また戻ってきたね…わたしの部屋…。

〳〵ベッドに横になって布団にくるまる。お互い顔を見合わせる

お互いバスタオル巻いて、ここで、これから…何をするんだろうね…。ふふふ…。

〳〵だんだん右耳もとへ

キミはどうしたい？ 何がしたい？

私を気持ちよく…？

// この子は気を使っている。そう直感した。

もしかして…いい子になろうって思ってる？

// すぐ人の機嫌を伺い嫌われないようにとする。

// 昔の自分の姿が重なって不快だ。

わかった。なら、ほら、ここ…舐めてごらん。

// 苛ついて棘つきの言葉を吐いた。

お姉さんのおまんこ。舐めなさい…。

// 正面30cm

前来て…そう。

舌のばして… ふふふ…。

// 少年の息がかかる

// 少年をもて遊ぶ高揚感と彼の緊張が伝わってきて、感度が高まってくる

※喘ぎ声・嬌声は発声を隠すように我慢するようにお願いします。

// 正面50cm

…っん// あっ…はぁ…。はぁ…。だい…じょうぶ…。

// 少年の息が性器にかかっただけで身体が震えた

// 予想以上に性器が敏感になっていてこのままでは自分がやられてしまう予

感がした

まって…。

舐める前に…息…ふうって…。 柔らかく…ふうってして

んっ／＼ ううん／＼ はあ…はあ…。

／＼ なんだこれ…こんな快感味わったことがない

※正面 20cm

はあ／＼ はあ／＼ うん…そ…。 気持ちよく／＼

そのまま、 ふうふうって…ご飯をさますみたいに…お姉さんのここにやさしく…。

んっ ううんっ はあはあ… はあ… はあっ

／＼ 少年は心配そうにしながらも、続けざまに息をふきかけてくる。

んっ ううん／＼ きもち… ん… ううん／＼

(喘ぎ)

〃 身体が震えてしまう、脚に力が入らない

はあはあ…。…ダメだ、これ。あつ〃

〃 愛液が染み出てくるのが自分でもわかった…触れられてすらないのに

〃 少年に火が付いたように、太ももを両手で広げて顔を至近距離に近づけてくる。これはかなり恥ずかしい。

まつ…顔そんなにちかづけないの…両手！ ふともも持つの…ダメ〃 んあつ〃

んっ… ううん〃 ふーふーしちゃだめ… ん… まって…匂いすうすうしたらダメだつて〃

はあ…はあ…はあ…

ゆっくり…ゆっくりして〃だめだつて…

いや〃 ん… ちがう…これはおしっこじゃないのっ…絶対〃違うからあつ〃 うう

ん／＼

／＼ じゃあなあに？このぬるぬるは…？ 少年は今にもそれに触れそうな勢いで顔を近づけている

／＼ いっそ舐めてくれたほうがいい。彼は私が命令したとおりに息を吹きかけ続けている

ん… はあ…はあ…。 ふーふーいや／＼ ん…。 ううん／＼ ちがうの…／＼
はっ はっ…ううん／＼ はあ…はあ…はあ…はあ…／＼

／＼ 嫌といっているのに吐息をやめないのは私が自制を本心で望んでないことを悟っているからだろうか？

／＼ 少年の吐く吐息に夢のような心地に溺れてしまいそうだ

息／＼ だめ… だめ… ん… はあ、 はあ…

／＼ 少しずつ少年の息づかいに性感も慣れてきた…。

んっ… はぁ… はぁ… はぁ… はぁ… ううん //

// たまに彼が長く強い息を吹きかけるのが心地良い

つづけて… ふー。して // ん… ん… はぁ… はぁ… はぁ… ううん //

// 予想外に気持ちいい。私は彼に懇願しているという意識がないほどに快感におぼれていた。

// 彼は嬉しそうだった。はい。という声には、明らかに私の期待に応えられたという喜びが感じられた。

はぁ… はぁ… はぁ… はぁ… ううん //

// ひどい匂いだ…。自分の愛液の匂いが少年に嗅がせている…。

// これをむりやり舐めさせ喉を咽させてやるぐらいのつもりでいたのに…。

// 舐められたら私はどうなってしまうかわからない

はあ… ん… ううん…。 ん… ん…。 はあ… はあ…。

ふーふー好き… はあ… はあ… しんやくん… これ だめだ… 私〓

ん… あ もっと…してえ… ん… はあ… はあ… はあ… すぎるの…よすぎ… ん…

はあ… はあ… はあ…。

〓 悔しい…気持ちいい… 少年の息遣いが死ぬほど心地良い。

〓 健気に息をする彼の頭をよしよしと撫でてやりたいほど。いつの間にか、腹

立たしさは消えていた。

〓 だんだんと息だけなのがじれったくなってきた。 新しい刺激がほしい。

舐めたい？ お姉さんのここ…吸ってみたい〓？

〓 わざと彼に情欲を向けさせるような言い方をした

〓 少年は私の身体を気遣って戸惑っているように思えた。

〓 あるいは排泄穴を舐めるように抵抗があるのだろうか？

〓 何か敗北感を感じてしまう。

やっぱりやめた。ずっとそこではあはあしてなさい…。

〃私は少年の耳元に顔を近づけた。

〃二人で私の性器を見合っているような不思議な格好。

〃だんだん左耳もとへ

（おだやかに感じる吐息 たまに嬌声をあげ）

ずっと見てるね…お姉さんのここ…飽きない？

〃相変わらず息がくすぐったい。気をぬけば震えて悶えてしまいそうだ。

〃私は少年にの耳もとで更にいやらしい気持ちにさせようと躍起になった。

はあ…はあ…女の子のそこ…おもしろい？

ひくひく…ひくひくって

キミの吐息が当たるたびに動いてるのわかる？

感じてるの見える…？

どう・思う…はあ…はあ…キミの息でお姉さんのここ…こんな…震えてる…

はあ… はあ… はあ…はあ…。 くすくす…。

恥ずかしいな…恥ずかしいなあ…

でも、キミが見たいならいいよ…？

見て… みて…。 ふう…して…

はあ… はあ… はあ… ああ…んああ

キミが想像する以上に、ここは敏感なんだよ

キミがふーふーするだけで、身体… 飛び上がりそうぐらいいまだって…ああ

…嘘ではない。身体が身悶えしないように気をつけている。

だから…やさしくしないとね…。

やさしく、ふー。ふーって

お姉さんのこと、気持ちよくさせないとね

キミのこと嫌いになっちゃうかも…。

// うん。と素直な返事をした。

// 息遣いがこころなしに優しく穏やかになった気がする。

はあ… はあ… はあ…ん… ほら…よくおまんこ…見てね…。

はあ… はあ… はあ//よくみて…お姉さんが苦しまないように… ふー…して

//

// オナニーでは得難い快感と快楽が同時に包んでくる。

// 生暖かく湿った風が、性器の前にそよぐ。少年が熱心に私の言う通りにして

いるのが愉快でおいしい。

// 悪くない…。延々とこの時間を楽しみたい。

んんっ// ああ…。んん… ふう… ふう… ふう…。ふう…。

はあ… はあ… そ… やさしく、 やさしく…。 ん… ん… ううん

〃 ゆっくり、 ゆったりと包み込むように私も少年に語りかけた

※だんだん反対の耳もとへ

お汁が滲み出てきてるの気になる？ はあ… はあ… はあ…

なら… ティッシュで吹いてくれる？

いーよ。 ふいてごらん。

そこにウェットティッシュあるから。

〃 アルコールティッシュをつまむと、少年は私のそれに近づけて愛液を拭いていった。

〃 人に下の世話をされているような、させているような恥ずかしくもあるが優越感に浸れた

ん…// ふふふ…。そう。しっかり拭いてね。

ううん// はあ…はあ…ん// （あまり強く感じないで）

// 愛液は拭いても拭いても無尽蔵に溢れてくる。拭いた先からどんどん溢れてくる

ふふ… 拭いてもどんどん溢れてくるね…。気持ちよくできてるってこと。

お姉さんが気持ちよくなってるって証拠だよ… はあ…はあ… はあ…。

もっと…拭いてみそ… ん… ううん…

みて…// みて// みて… み・て… （いろんな言い方で少年をかどわかす）

くちゅくちゅ… くちゅくちゅ… くちゅくちゅ…。

うん// ん… あ… はあ… はあ…。

んっ… あっ//

// 少年が動揺する様が愉しい。彼の呼吸を見出しているのを感じた。

そんなはあはあ息を荒くしてると、お姉さん困っちゃうなあ…。

優しくしてって言ったの忘れたのかな？

〃 謝ってきた。 恥ずかしそうに紅潮している。

※ 後ろ 首元で

ふふ…まるでケダモノだね。

ちゃんと優しくしてね…。

ほら、ティッシュはもういいから…。

次はおまんこの匂い嗅いでごらん…

すう… すうって…。

〃 少年は自分から鼻を近づけていく。

〃 私の言いなりになっているのが面白い。

…んっ はあ… はあ〃

// 鼻の先が性器に触れそうだ。近くに彼の鼻がある。

// 吐息と鼻息がかすめ、自分のアレの匂いを年下の子供に嗅がせているという背徳感で性欲と嗜虐心が高まるのを感じた

// この子をめちゃくちやにしてやりたい。この時間をもっと楽しみたい。

// すう…すうは、穏やかな吐息です

※ 右耳もとへ

ふふ…そ…すう…すう…ん //

すう…すう… ふふ… どんな匂いする？ いい匂い…する？ はあ…はあ //

すう… すう… すう…。いい子だねえ。

頭ん中がだんだん自分でもおかしくなってるの感じてるかな…。

でも、キミは男の子だから…

女の子に惹かれるのは当たり前のことだよ…。

私のここを触ってみたい、吸ってみたい、嗅いでみたい…

そう思うのは自然なこと…

いいんだよ…思う存分…して…

匂い…覚えるまで…嗅いでごらん…

※ 右5～10cm

ん…。ん…。

はあ… はあ… はあ… はあ… ああ…

鼻先がね… スレスレの部分にかすめるの…

ここ…敏感になってるから…キミが近づくだけでぞわぞわするの…

大丈夫…気持ちいいから…

そのまま…そのままかいでみて…

ううん… ああ… はあ… ん… う…

… 気持ちいい。気持ちよすぎてこまる程に

／＼ いい加減触ってほしい。切ない…。だけど彼の舌でなめられたとき、とんでもない声をあげてしまいそうだ。

※右みもとへ

はあ… はあ… よしよし…。 女の子の匂い覚えようね。 いい子だよ／＼

鼻…おつきく開けて… そう、いいよ… なんならおまんこにすりすりしていいから。

お鼻直接おまんこにあててごらん、 ほら…

ん… ううん／＼ すうすう…ああ…いい子 そ…

（嗅がれて感じている 喘ぎ吐息）

かいで… かいで／＼ ん… ああ…。 もっと… はあ…はあ…／＼

／＼ 少年の鼻骨が性器をくすぐってくる。 くんくんという音に愛液が飛散する音が混じり、幾分か少年の鼻穴にも入っているであろう。

// 何をさせてるんだか…。 たまらない。

もつと…かいで… 息は口でして// そ…いい。 お鼻…すりすり…んっ… クリにあた
ってる//

はあ… はあ… いい子… いい子// ん… うん// はあ… はあ…。

// だんだん後ろへ

じゃあ今度は、女の子の味…覚えよつか…//

さっきキミがティッシュで拭き取ったもの… 次はキミがなめて綺麗にするの…。

※だんだん左耳元へ

ほら… お姉さんのここ… 綺麗にして//

// 少年に対する嗜虐心と性欲が一気に跳ね上がる。

// ぞくぞくした。 なめろ…なめろ…なめろ…。

※左 5 \ 10 c m

どうしたの…舐めてごらん //

吸ってごらん… //

はあん // ん…

// 少年の舌がそこに触れ一瞬高い声をあげたが、口を塞いで耐えた。

// 自己の上位を保つために堪える。確かに気持ちいいが耐えられないこともない。

はあ… はあ… んっ んっ… そ… 舐めて // なめ… ううん… はあ… ああ…。

// 嬌声をこらえながら少年に舐めるよう促す。まるで何かの修行をしているようだ。

// 気持ちいい。できればもっと奥まで舌を入れて欲しい

あ… おいで… ん… はあ… はあ… はあ… ペロペロ…

／＼ 飲んでる…。本当に飲んでいる。

※左耳元 ささやき

ふふ…飲んでごらん…ちゅ、ちゅ、ちゅ…そ…お姉さん…甘い…、飲んで…はあ…はあ…
…

んあ／＼ ふふ… ん／＼ ん… ああ… はあ… はあ…。

／＼ 咽ろ。メスの味に震えろ…。

いい子だね。いくらでも飲ませてあげるから…はあはあ。

綺麗にのんで… 舐め取って… ん… いい／＼ はあ… はあ… ん… ああ…

気持ちいいよ…キミがお姉さんを綺麗にしてくれて嬉しいなあ…くすくす(邪悪に笑って)

(舐められる 喘ぎ)

※ 左後ろ 10 c m

何かご褒美あげなくちゃね…。考えておくといいよ…。

〱 少年が何を望むか楽しみだ…

ん… ううん… はあ、はあ…ああ…あ〱 んんっ〱

〱 やばい…軽くいきそうだ。だが、もっと楽しみたい…この子に舐めて汁を吸
わせたい。

※後ろ 10 c m

ん… ふふ…いっぱい出てくるね…まだまだ飲めるかなあ？

覚えなくちゃねえ…しっかり舐めて…女の子… うん〱 いい返事…。

ん…ん… あっ んんっ〱 大丈夫。もっと舌…奥まで入れて…〱 のんで…飲んで〱

はあ… はあ… はあ…。 そ…だね…お姉さんのここ、敏感だから優しくしなくちゃ
ダメなものね…

いい子… いい子…。 はあ… はあ… はあ…

※右みみもとへ

でも、キミはいい子だけど、 気遣いできて…いい子だけど… 人の言いなりになつて… キミはそれでいいの…？

〳〵 あれ…私は何を言ってるんだろう。

お姉さんは嬉しいけどね…みんなキミを自分のために、利用してるだけかもしれないよ…。

ん…あつ… はあ、はあ… したいこと〳〵 キミがしたいようにしてもいいんだよ〳〵

〳〵 少年を束縛せんとしているのに、何故か真反対のことを言う私は何なのか。

〳〵 いや、絶頂を迎えたいのか。きっとそうだ。前戯をさつさと終わらせ、果て

たい。気持ちよくなりたいのだ。

お姉さんはキミがどうしたいか気になるなあ〳〵 もっとエッチなことしたくない？

このまま優しく舐めたい？　そー…なんだ…。

〃 意外だった。少年のあそこはさつきからガチガチに固くなっている。

〃 私のご機嫌をとっておきたいということなんだろうか。

〃 あくまで自分の立場を理解した上で私に気に入られようとしてのことだ。

やさしいねえ…　くすくす。

激しくしていいよ…。　なんならおちんちんいれても…

〃 彼は首をふった。

〃 は？わけがわからない。

え…？　激しいのはだめ？　どういふことかな…？

※ だんだん後ろ10cmへ

ん…　んっ…　はあ…　やんわり舐めるだけ…？

ん…なんで〃

〱 お姉さんが幸せそうだったから、僕も嬉しかった

そんな…んっ、また息ふうって… はあ…はあ…ん…。うん〱

〱 確かに延々として欲しいと思うぐらいこの子の吐く息は気持ちいい。

〱 でもそれ以上に少年の言葉が気にかかった。

〱 虐待に近いような行為をしていたのに、私の幸福を望んでいること。

〱 私の意図が伝わっていなかったのか…？

※首元のあたりへ

はあ…はあ…これ確かに好きだけど… はあ… はあ… はあ…

〱 舐められたことでさらに感度が高まっている気がした。

〱 あるいは少年がおかしなことを言って動揺したせいだろうか…

ん…ううん〱 はあ…はあ… はあ…んっ〱

〓我慢できないほどではないが、触ってほしい…弄んで欲しい。でないと自分でいじってしまいそうだ…

〓でもそんなことをしては負けたような気がしてしまう

なんで…？ めちゃくちゃにしたくないの？

お姉さんのこと はあ はあ もっと エッチなことしたくないの… はあ… はあ

… はあ…

〓少年は熱心に吐息をあそこに吹きかけている。強くも弱くもない。

ん… ううん〓 はあ、はあ… はあ… はあ…

しょうがないな〓 ううん〓

ああ… はあ… はあ…ん… ううん〓 息…きもち〓

〓相変わらずふーと息を吹きかけるだけ。それなのに性器からは愛液が溢れていた。

// 触ってほしい...// そんなことは言えなかった。

※左耳元へ

はあ...はあ...くちゆくちゆ 音たててるね...。

くちゆくちゆ... くちゆくちゆ...はあ... はあ... はあ...。

// どうやら、息を吹きかけるのが気に入ってしまったようだ。とんでもない趣味を彼に与えてしまったのか？

// それならそれでいいかもしれない...。

// でも何か違う気がした。 それ以上になにか温かい何かを彼から感じていた。

ん... はあ、はあ、はあ...おまんこ...あつたかい...気持ちいい//

あつためて...// ふうふうで...もつと// ん... そ... はあ... はあ...。

(やんわり喘ぎ+ きもちい... いい)

〃 二人で私のひくつくあそこを眺めつづけた。

〃 恥ずかしいという域はどうに超えている。

きもち… はあ、はあ… はあ… はあ…

（ひたすらエッチな声と吐息）

宵闇のセックス

〃 気がつくと日が暮れようとしていた。どれだけの時間、彼は私のあそこに息をかけ続けたのだろう。

〃 私は延々と続く拷問のような気もしたし、もうこれ以上何もしたくなるほ

どの悦を味わっているような気もした。

〃 ただ魂の抜け殻がベッドの上にあるようだ。

※左耳元 ささやき

日…暮れちゃったね。

なんにもしてないよ、今日一日…ふふ…。

〃 親に言われひたすら勉強に明け暮れた日が遠い日のようだ。

〃 一緒に戦った少年を胸の中に抱きしめた。彼も疲れ果てていた。

でも、いっぱいやらしいことした。

お姉さんの匂いも、味もしっかりと覚えたね。

よしよし…。お姉さんのこときもちくしてくれてありがとう／＼

しよつか…セックス。

もうなんも考えられないくらい、頭真っ白になったけど…私のここはキミのせいでドロ

ドロ…

キミだって我慢汁をいっぱい出して、こっそりおちんちんいじって我慢してた。

やらない理由がないんだよ…。もう… 気持ちよくなろう…。

だらしく、なんも考えず…。 うん…。 ほら、ここ…。 するって入ると思うから…きて

//

// 横になり体を寄せあう。

// 私は彼のそり立った性器を持ち上げて自分の秘所にあてがった。

※ 左前 5cm

ん… いよ…そのまま// おいで//

あ… はあ// ふふふ… ぬっぽり…。

びっくりするぐらい、すんなり入っちゃったね。

どう？ きもちいい？

＝ 少年は目を閉じて穏やかな顔をしていた。

※ 正面 5cm

なんだよお、目とじて…。

＝ 疲れているのはわかる。私も疲れていた。

＝ 落ち着きます。と少年はいった。

うん…

落ち着くね…。

※ 左耳元 ささやき

君も私ももう、疲れきってるから、動けない。

なんでこんなことしてんのかよくわかんないけど…いて欲しい。

きみが、そばにいて欲しい…。ただそれだけ。

こうして繋がってれば、君はどこにもいかない。

どこにもいけない。

ふふ…こどもみたいだね。

お母さんがいるとそばに安心するのやつ…。

…君に私のあそこ嗅がせたり、飲ませたり、ひどいこといっぱいしたのに、どして？

私の悪意とか感じなかった？

攻撃してるって思わなかった？

そんな私にどうして君は嬉しそうにすがりついてくるの？

それでもすき？ 私が？ くすくす…面白いこと言うね。

// よくわからない。でも、恐らく本気でそう思ってるんだろう。

// どうでもいいことだ。

そーなんだ。 なら、すきな私の頼みごとなら、なんでも聞いてくれる？

〃それはできない。彼は言った。

〃出てけって言われたらとても困るらしい。

※ 左 15 c m

くすっ…出てけって言われたら困るんだ…。そうだろうね。

〃両親が帰ってきたら流石に無理だろう。それまでの関係だ。

※ 左 耳 元

でも、始まりがあるものには必ず終わりがあるんだ…。

いつかこの関係にも終わりが来る…。

だから、今を楽しもうよ…。ね…。

上、乗って大丈夫？ 私が動くから。

※ だんだん正面 30cm へ

ふっ…

〃 騎乗位の体勢で、ゆっくり

ん… はぁ はっ… はっ はっ ん んっ んっ…

〃 小さくて可愛い彼の性器を私はできるだけ奥に感じようとしていた。

〃 やっぱり子供だ。 真っ赤に照れている。

あっ あっ んっ んっ んっ はぁ はぁ いいね…きもちいいやセックス はぁ

はぁ、

〃 うごいているのは私だけど、二人で気持ちよくなろうとしている気がした。

小さくない？ ああ… ふふ、何気にしてんだか… んっ んっ んっ

〃 前かがみになって彼の耳元で意地悪を言ってる

※ 右みもと

当たり前のじゃん…ふふ…小さい。小さい…〃

でも、あんまり大きいと私のここがびっくりしちゃう。

ちようどいい大きさだって…

そう思って気にせず気持ちよくなろう？

〃 前へキス

んちゅ…ちゅ…んちゅ…ちゅ…

ほら、おっぱい触って… キミに触って欲しいよ？

ん… んはっ〃 んちゅ… れろれろれろ… そ…

〃 身体を起こしてセックスに集中する

〃 上下するスピードが自然と早くなる。

※ 正面 30cm

んしょ…

んっ んっ んっ んっ はぁ はぁ はぁ はぁ はぁ…

んふふ…だらしくしよって言ったのにね… 好きみたい。私… やっぱ、思った以上に…エッチ…好きみたい

はぁ はぁ はぁ はぁ… キミも… 好きだと思う。 キミのことだよ…。

んっ んっ んっ んっ ずっとイジメてたい…。 私のわがままに付き合ってくれるなら…

// 更に早くして下で休憩するまで激しめに

んぁ あっ んっ んっ んっ うん// はぁ はぁ はぁ はぁ はぁ// いっ あっ
んぁあっ//

// ここで休憩して少年の左耳元へ

はあ…はあ…はあ…はあ…。

私のこと…好きなんだね…。　どして？

顔？　おっぱいが大きいところ？それとも、意地悪なところ？

…わかんない？

くすくす…。

でも、好きなんだ…。

そっか…。

なら、質問を変えよっか…。

好きな人とエッチできてキミは今…幸せ？

／＼　前へ　キス

…んちゅ…れろれろれろ…れろれろれろ…はあ…はあ…はあ…れろれろれろ…。

// ゆっくりとうなずく男の子

ふふ…そだね。幸せそうな感じがする…//。

// 左耳もとへ

今度はキミから動いてくれる？

うまくやろうなんて思わなくていいから…キミの好きに動いていいから…//

// 拙い動きで、腰を降ろうとしている

ふふ…頑張ってみ。可愛いね…可愛い んっ んっ それ、頑張れ… はあ はあ

あ… そ…

いい子だ、 んっ… はあ はあ。 ありがとうね… はあ はあ 好きって// んっ

んっ

初めてだ… ん あっ はあ はあ ちゃんと言われたの…

// 付き合ってた人がいたんでしょ？

ふふ… そだね。付き合ってた。

でも、キミのほうがいい男だよ… 可愛いし、素直だし、イジメがいがあるし… エッチ上手だ。

んっ… ううん// ふふ、上手は言いすぎたかも…。 んふ…。

でも…ふーっておまんこに何度も何度も息かけてくれたの… あれ、よかった。

きもちかった// ほんとに私のこと好きなんだって思った…

んっ んっ あっ はあ またして// また…して欲しい…// どんどん濡れて// 見られんの恥ずかしかったけど、

んっ んっ あ きもちかった//

// だんだん左前10cm

んっ つぐ ほんとは 恥ずかしかったけど、はあ、はあ… はん// じれったくて、うれしくって//

／＼ だんだん正面20cm

ほんとは手で触ってほしかった／＼ あっ あっ はあ はあ

おまんこ…触って、舐めてほしかった／＼ んん… はあ、はあ／＼

優しくしてって言ったけど…察してよ／＼ っう あっ はあ はあ なんで触ってくれ

なかったの…

はあ・ はあ…はあ…はあ…

／＼ 腰を動かすのやめる

※ 右耳もとへ

あんだけぐちゃぐちゃに濡れてるんだから

そーいうところ…ほんと子供

／＼ また動かす

ん… ううん／＼ んっ んっ んっ ふふ、可愛いな。頑張れ。頑張れ／＼

／＼ もう、無理。動けないと彼が言う

しょーがないな。 お姉さんが射精させてあげるよ。

一緒にいこ。

いっぱい出してね。いくよ…。

／＼ 早めに動く

ん はあ はあ はあ はあ んっ んっ どう？ 元気になった？ あ あっ んっ

んっ／＼

え？ 気持ちいいフリしてると思ってた？ 私が？ セックス？

んなわけないしょ…さつきから結構イキそうなのの我慢してるよ…

ん んっ んふ、 だから大きさは関係ないんだって。

はあ はあ はあ、 奥に届いてるし、中で動いてる感じ、

キミを犯してる感じ、 私はぞくぞくしてって。

言わせるなよ…もう／＼んっ あっ あっ 嬉しそうな顔して、…ふふ…

もういくよ… ほら、出させてあげるからっ

／＼ 更に早く！

あっ あっ あっ あっ んっ んっ んっ んっ んっ！
いくっ んっ んっ んっ んっ んっ んっ んっ

あっ んっ んっ 出そ？ んふ じゃ、いっしょにいこっか。
んっ んっ んっ んっ んっ

はあ はあ はあ 私もきてる んっ くるっ！ あっ！！
くるっ くる！ くる
っ んんっ！……！

／＼ 射精音

はあ、はあ　はあ　はあ、はあ…。

ぴゅるるる　ふふふ。中だし、綺麗にできたね。　偉いじゃん。

好きな人の中に出せて幸せ？

〃　「僕は中に出すつもりはなかったんです」　気が引けてる感じだった

ふふ…出しといてそりやないでしょ。私が報われないよ〃

〃　なぜか幸せそうに私は笑っていた。

ああゝ　熱いなあ、キミが中にだしたせいでできちゃうかもなゝ…ふふふ

それでもまだしたい？　セックス…。全部背負える？

〃　したいけど…もう動けない

そだね。私もしたいけど動けない。　動かなくていいからしよ…。

ちがうよ…

このまま抜かないで寝よってこと。

離れないで…／＼ね…。

終章 添い寝セックス

安眠トラックです

／＼※重たいセリフがあります。でも安眠トラックなので、気だるそうに、眠そうにお願いします。

エッチな嬌声をあげている部分はほんのり気持ちよさそうに、お願いします。

※右耳もと

うん…抜かないでいいよ…そのままね…ふふ…

はあ… はあ…はあ…うん…

不思議な子だねえ、キミは。

なんで私みたいなの…

／＼ 私は腰を小刻みに動かしていた…

ううん…んっ ふう ふう…ふう…はあ… はあ…はあ…

これ…意外といいね…エッチしたまま寝るの／＼ あったかいし、気持ちいわ…普通に寝れそ。

はあ… はあ… んっ ふふ…きもちっしょ… ぐりぐり…うりうり… んふふ…お

まんこぬくかろう？ ふふふ…。

すう…すう… すう… すう…

（寝息＋気持ちよさそうな吐息）

こら…好きって…//

…いちいち口説いてくるな。ばか…//

// 少年の言葉は全く理解できない。でも好きというのが、まんざら嘘とも思えない。
ない。

// たしかに彼とのエッチをしているときに付き合っていた男にはない、何かを感じた。

// 私のが好きなかもしれない。

// ただ、彼に自分を好きになる要素があるとは到底思えなかった。

// そうやって都合よく自分を利用しようとしているだけだ。結局ここにおいて欲しいだけだろう。

ん…ふう…ふう…ふう…はあ…はあ…ううん//

// 少年に絆されてしまいそうで何か怖い存在に思えてきた。

// 得体の知れない何か。それに流されてしまいたくなる。

だから… 耳もとで好きって言うのやめろお //

// 「なんで？お姉さんもしましたよね？これ」

…私もしたけど、いいからやめなよ //

// 「なら、おねえさん言ってよ。好きって…もっかい言って」

もっかい？なにそれ…。 ま、いいけどね私が言うぶんには

そのかわり明日もご飯作ってよ？

ふう…。

すぎ… すき// すき… ん…はあ… すき…。

// 彼は身を震わせて喜んでいた。 耳元で囁かれるのが気持ちいいのか

すき… しゅき…／＼ んちゅ… す・き／＼ はあ、はあ／＼ すき…。

／＼ 幸せそうに震える顔が鼻についた。少し意地悪してやろう。

すき…おまんこ／＼ ああ…おまんこ…きもちいい／＼…お・ま・ん・こ… くすくす…。赤
らめてる。

ほら…おまんこ動かしてあげるから…もしお姉さんと夜更かししよ…。

／＼ やんわり腰を動かす

ん… ううん… すう… すう… すう…くすくす…震えろ…ゆるく動かすのやばい
でしょ…。

すう…すう…すう…ふふふ…んっ／＼ ん…ふう…はあ…はあ…はあ…はあ…

…どっちが先に寝れるか勝負…。先に寝れたほうが勝ち…。

すう… すう… すう…。ううん… くすくす…

／＼ いじわるしなくなって耳元でいじわるする。

しゅき／しゅき…す・き…。

あーら可愛いこと。まっかになつて

おまんこすりすりされるより 愛を囁かれるほうがきいてるね…ふふ…

ほら…ねるよ…。

／＼寝息

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…

／＼もう寝ようとしてるのでけだるそうに

なに？

僕も言う？ いいけど、私はキミほど響かないよ？

すう…すう…すう…すう…

※だんだん正面至近距離へ

いいよ…言ってごらんよ…。聞いてあげるから…。

ん… ううん／＼ はあ… はあ… ン… ううん／＼

はあ… はあ… はあ… はあ…

／＼ 「効いてるじゃないですか」

ちがう。セックスがきもちいーの。嬉しいわけじゃないから／＼

いいから続けてよ…

はあ… はあ／＼ んっ ううん… はあ… はあ… ああ…

へへへ… しょうがないシヨタっ子だな、君は…

※だんだん左耳元へ

／＼ 思ったより悪くなかった ショタっ子に好き好き言われるのは耳が幸せになれる。

（やんわり吐息 寝息 たまに幸せそうに微笑む）

私も…言ってあげるね／

好き… す・き／ すき…すき… はあ…はあ… すき… すき…ん…すき／ きもち…

ん… すう… すう… すう… すう…うん／ 添い寝エッチ、きもちい…。

好き… 好き… すき…はあ…はあ…はあ…。

ふふ… ん… はあ… はあ… はあ…はあ… よしよし… よしよし…。

／＼ 死にそんな感じでへたって言ってください

ああ…。きもちかったな…。ふー ふーされるの…。おまんこ／＼あれ…ほんとよかつた…。

くすっ…めっちゃ嬉しそーじゃん…。そかそか…。

んね。ほんとに…好き？お姉さんのこと…／＼

…ん…。
うん／＼

信じてるわけじゃないけど…嬉しくないわけじゃない／＼

／＼好き好き！って連呼される

やめーって。わかった。わかったから…ったく／＼

はあ…。おちんちん小さいくせに…／＼ちびちび！っ…。

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…

でもなんで。私がキミに好かれる理由がわからない。

別にキミが嫌いじゃないけど…なんで。

どちらかというと、結構キツめに接してたと思うけどな…。飲ませたし…。

// 「しいて言えば 同じような感じがしたから…かな」

はあ…はあ…ああ… 同じような感じがする…？私が？キミと？。 ……そか。

// 少年のものを奥に入れようと膣の位置をずらしたり、動かしたりしてます。

すう…すう… んっ…ううん…すう… すう… すう…。

// 少年の身体を抱きしめる。

はあ…はあ… ん…すう… すう…すう…。

※左前5cm

…私はね…親が許せなかった…。

うちはかなり厳しい人たちでね、でもそれが私のためでなく、自分たちの為なんだって
ことが透けて見えて…辛かった。

いい子にさせられて、間違ったことを自分がしていたんだって思ったときにはもう高校
生で…

いつか…いい方法であの人たちをひどい目に合わせられないかなって思ってたんだ…。

もし私が悪い意味でテレビとか映るようなことになったら、どんな顔するのかな…っ
て、

ふふ…そんな感じ。

君も両親に仕返しがしたかったんじゃない？

違うかな…だから、私に攫われるのわかってわざと捕まっただんでしょ…ふふ。

なんとなくお互いがお互いを感じ取って、居心地いいなって…

安心するんだろうね…。

こいつとはわかり合えそうな何かがある…

確かにそういう子となると、安心する…。わかるよ…。

// やんわり吐息を耳もとで聞かせる

// ここから寝貸付に入ります

※ 左耳もとへ

はあ…はあ…はあ…はあ… しょうがないから… 守ってあげるよ…誘拐…してあげる…。

うれし？ ふふ…セックスしながら言うことじゃないね…違うない。

ん…はあ…はあ…はあ…はあ…すう…すう…。

はあ…はあ…はあ…はあ…。ん…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…。

添い寝…おちつくんだ？

はあ…はあ…はあ…はあ…

おねーさんに種付けしながら寝るのがそんなに落ち着くんだ…くすくす…すけべ…ふふ…。

すけべ…すけべ小僧…。悔しかったら…って

あれ…私が言い出したんだっけ…抜かないでって？

あゝ言ったかも。

はいはい…私が全部悪いですよ。

きみのおちんちん抜きたくないって言いいました…。言いましたね。

なによ…その目…。生意気…。

うりうり…うりうり…　ん…ほっぺやーらかいな。男のくせに…。

ふふ…ふふふふ。　うりうり…うりうりっ…

ううん…はあ…はあ…はあ…はあ…。

すう…すう…すう…　ん…　ふう…

もっところち来なよ。寒いっしょ…

ふふ…だって、これ、めっちゃ落ち着くじゃんね…。

安心するじゃん…一緒にねるのとか…

／＼　僕と一緒にいて安心するんですか？

ん…今は少なくとも絶対に私のこと切れないだろうから…一応信用はしてる…。

寝首かかれないうなっぺレベルでね。信用はしてるけど、信頼はしてないんだから。

キミの好きって言葉も全然響いてないんだから／

もう…はあ…はあ…はあ…はあ…んっ…

すう…すう…すう…すう…気持ちいい…。

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…

ん…う…ううん…／

君、おっぱいはむはむしてるね…エロすけ。

してほしうって言ったっけ私…。

…言った？そうだった？（言っていない）

ま、そういうことにしとこか…くすくす…。(ちようどして欲しかった)

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…ちくび…噛んでいいよ…うん…むにゃむにゃ…ふふ…

// やんわり噛まれて、基本は視聴者が寝れるようにおだやかな吐息。たまに嬌声

齒…きもちい…うん…そ…そ…。はあ…はあ…はあ…はあ…うん…かんで…

すう…すう…ん…うん はあ…はあ…はあ…はあ…

遠いところ…行きたいね…。誰もこないところ…。はあ…はあ…はあ…はあ…

すう…すう…すう…すう…すう…

どっちいきたい？ 上？ 左？

上？　なんでうえ？

寒いじゃん…。ま、いいけどね…ラーメンも海鮮もおいしーし…。

／＼　男の子に乳首吸われてます

すう…すう…すう…すう…ううん／　ふう…ふう…ふう…

ん…？　今の私が朝の時見たいに可愛いつて？　馬鹿にしてんのか？

朝はエッチな気分になる…誰でもいいから、こんなふうに甘えたり…エッチしたくなる…。

寝るときと起きるとき。お布団にいるときはそうかも…。

変だと思う？

キミもさ…究極的には…助けてくれるなら誰でもよかったでしょ…。

私も誰でもいいから…そばにいてほしい…そゆときがあっても、おかしくないと思うけど…。

はいはい…。何度もありがと。私のこと好きなのわかったから。

荷物にならないようについてきなよ…。邪魔だと思ったらすぐ捨てるから。

ん… うん／＼ すう…すう…すう…すう…。すう…すう。んっ…。

／＼ 耳に吹きかけるようなやりわり吐息

はあ… はあ はあ はあ はあ はあ はあ…

あれ…して／＼ せなか、ぽん、ぽん、ってやつ…。

あれ…すき…

うん…すき／＼

// せなかをぽん、ぽん、って叩かれる。

// ゆっくり吐息で聞き手が落ち着くように

ん…ふふ…はあ…はあ…はあはあはあはあはあ…

いい…寝れる…これ…

妹…ね…。

こんなことしてあげてたんだね…。きみ…。

…すう…すう…すう…すう…すう…すう…。

とっちゃったね… お兄ちゃんのこと //

ごめんね…。

// 少年が妹のことを思い出して涙ぐむ

よしよし… よしよし…。

// 頭を同じようにやさしくたたく

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

／＼ 親に殴られたからトラック2で少年に頭に触れることを拒まれていた

あ… 君、頭…怖いんだっけ…。 手…。 大丈夫だった？ うん…じゃあ、私も背中にし
とこか。よしよし…。

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…ぽん…

／＼ 暖かい吐息ゆっくり

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…ううん／

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…ん…。ふう…

はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…はあ…おやすみ…。また…あした…。

（寝息）